NPO法人相模原こもれび

設立２０周年記念誌

— 目 次 —

２０周年をむかえて・・・・・・ 1
相模原こもれび　沿革・・・・・ 2
組織図・・・・・・・・・・・・ 4
会員数・収支状況経緯・・・・・ 5
歴代役員・・・・・・・・・・・ 6
森づくり保全・・・・・・・・・ 7
活動内容・・・・・・・・・・・ 8
森の植生調査と保全・・・・・・12
定着型ボランティア活動・・・・16
ジュニアボランティア活動・・・18
小・中・高等学校学習支援・・・20
自然観察会・体験活動・・・・・22
木もれびの森で遊ぼうよ！・・・24
外部団体活動支援・・・・・・・26
外部イベント参加活動・・・・・28
会員研修・講習会・・・・・・・30
協働事業提案制度・・・・・・・34
こもれび刊行書籍・・・・・・・36
外部団体環境施策協力・・・・・37

20周年をむかえて

特定非営利活動法人　相模原こもれび

髙　橋　孝　子

令和２年をもって、ＮＰＯ法人相模原こもれびは、20周年をむかえることが出来ました。皆さまの日頃のご支援ご協力に心より感謝申しあげます。

森がすぐ裏にある環境は子育てに良いと思い相模原に越してまいりました。木登り・基地ごっこ遊び・お花見・落ち葉で焼き芋を作るなど親も子も楽しい時間を森で過ごしました。子どもが大きくなってふと気づくと、森がすっかり荒れ果てて暗い森が広がっていました。昔の森にするにはどうしたら良いのか、本を読んだり森関連の講座に参加したり他の森の見学に行ったりと気が気でない日々が続きました。

そんな時に相模原市の「木もれびの森ボランティア募集」がありすぐに申し込みました。平成１３年・１４年養成講座が実施され、参加した方々と平成１５年に森林ボランティアを結成し、みどりの協会（現まち・みどり公社）の指導のもと「木もれびの森」を蘇らせるボランティア活動を開始しました。平成16年に任意団体の森林ボランティア「相模原こもれび」を設立し自主活動を開始しました。平成17年相模原市とパートナーシップ協定を締結し、平成１８年「木もれびの森保全活動」の核になるべくＮＰＯ法人に移行し【森づくりとその保全管理事業】【子どもの健全育成に関する普及啓発事業】【自然環境保護に関する普及啓発事業】の3本柱を掲げ新たにスタートしました。

その後、平成２５年に相模原市の指定ＮＰＯに認可され、平成２９年には長年の活動が認められ内閣府主催の第12回「緑の式典」にて内閣総理大臣賞を受賞いたしました。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜物であると思います。

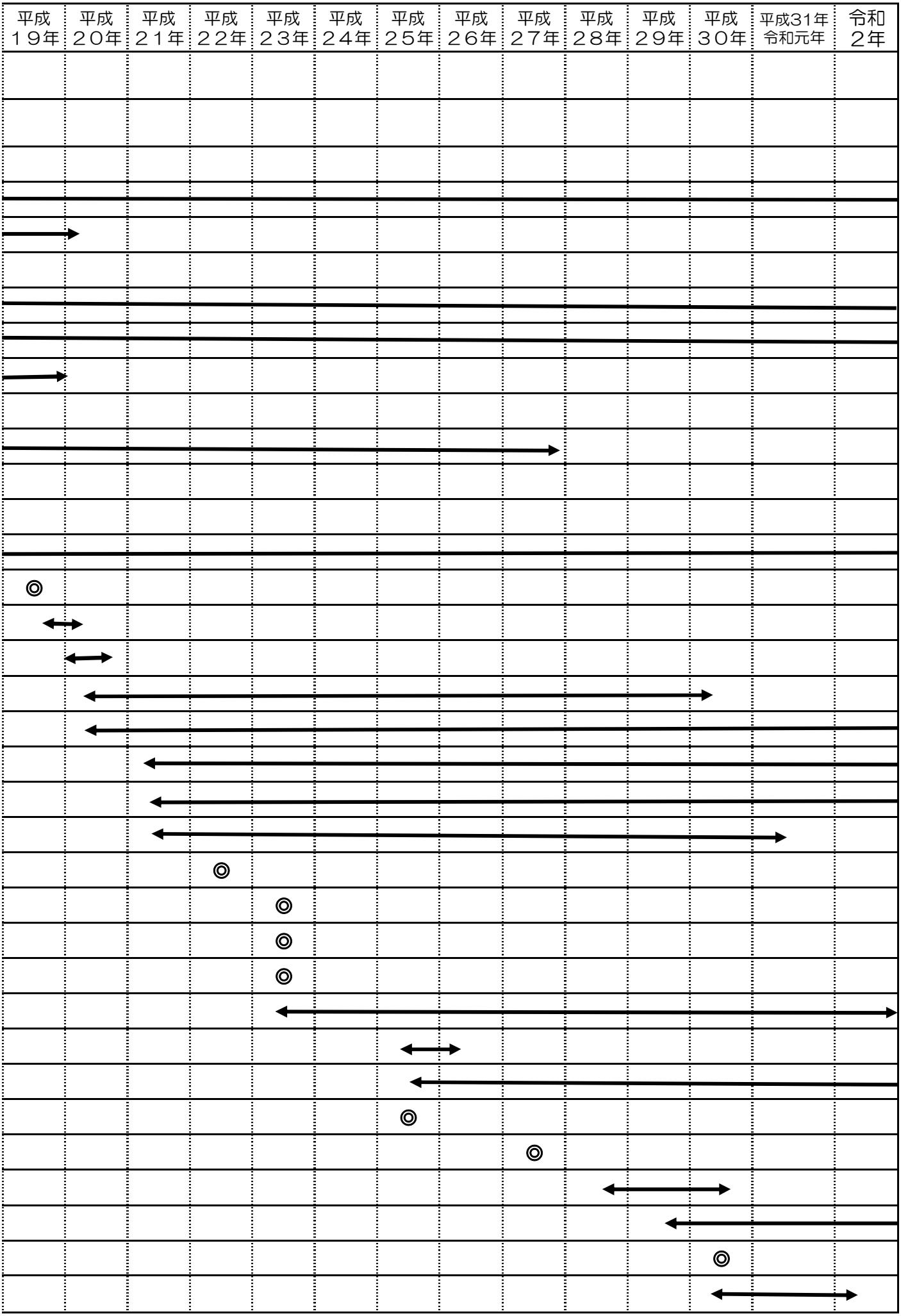
20年間私たちが行なってきた活動を振り返り、今後の会の参考になればと冊子にまとめました。志を共にする仲間が大勢いることを心強く思っております。これを機にあらためてご関係の皆さまに感謝申し上げるとともにご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

「ＮＰＯ法人相模原こもれび」の活動がこれからも20年、３０年と長く続きますように。願わくばジュニアボランティアに参加した子ども達が将来を担ってくれますように願っています。

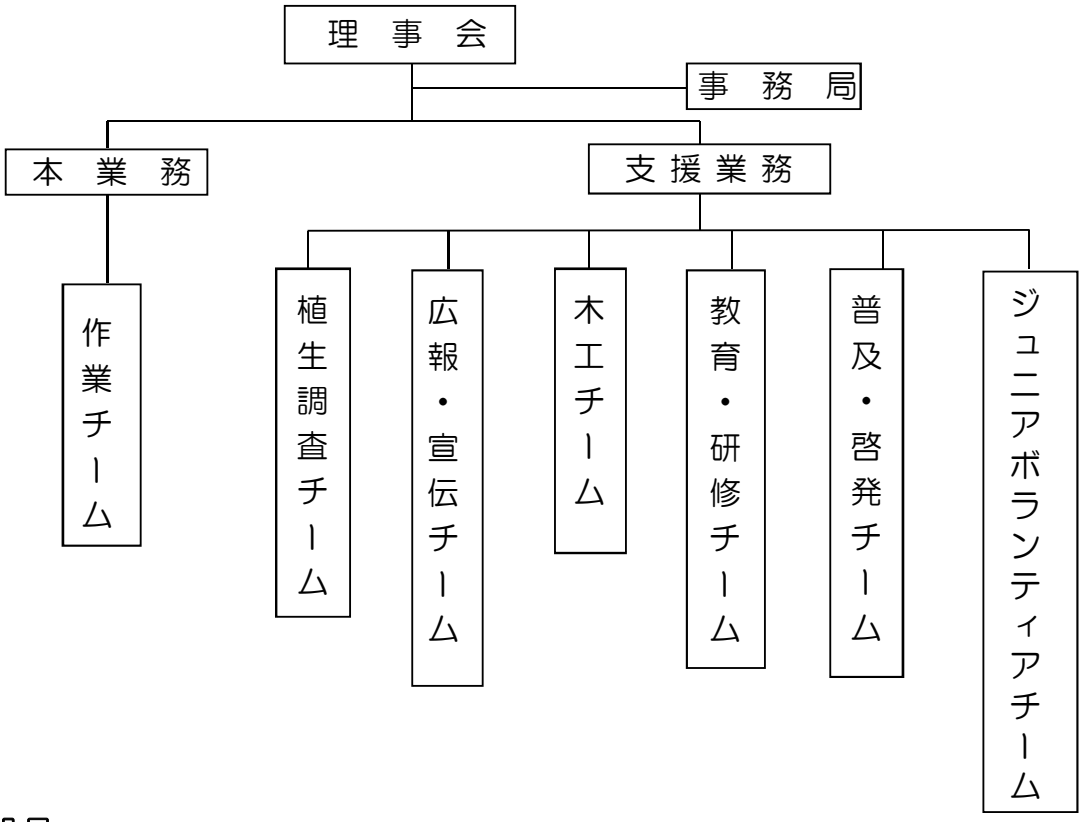
豊かな森を創造する！それは私たちの喜びです。

相模原こもれび　沿革

	平成１３年	平成１４年	平成１５年	平成１６年	平成１７年	平成１８年
第１期森林ボランティア養成講座　受講者５０名 内現会員１４名	↔					
第2期森林ボランティア養成講座　受講者４８名 内現会員６名		↔				
みどりの協会（現まち・みどり公社）指導で保全活動開始			→	→		
ジュニアボランティア活動開始			←	←	←	→
木もれび花便り・木だより毎月発行開始			←	←	←	→
任意団体「相模原こもれび」設立				◎		
会員対象研修会開催			←	←	←	→
植生調査開始				←	←	→
会広報誌「こもれび便り」発行開始(平成１９年４月迄９号)					←	→
相模原市とパートナーシップ協定締結					◎	
第１回木もれびの森で遊ぼうよ！開催（第１０回まで継続）						←
ＮＰＯ法人相模原こもれびに移行						◎
ホームページ開設、第１回夏期研修、シンボルマーク決定						◎
学校総合学習協力開始						←
会のリーフレット、沿革作成						
森林ボランティア養成講座　受講者２７名　内現会員４名						
木もれびの森便り発行開始（８月で終了）						
神奈川県県民協働事業「定着型ボランティア」活動開始						
木もれびの森内県有地保全活動開始（現在市有地に移譲）						
木もれびの森博物誌発行開始（隔月発行　現在に至る）						
こもれびニュース発行開始						
自然観察会開始						
第２１回「みどりの愛護功労者」国土交通大臣表彰受賞						
第３回「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定						
第３１回「緑の都市賞」都市緑化機構会長賞受賞						
待望の倉庫現在地に設置(沼澤会員寄贈品)、堆肥場囲い製作						
環境ステップアップの会と協働活性化事業開始						
提案事業「木もれびの森ガイド」作成						
企業CSR活動支援開始（三菱電機　年３回）						
相模原市指定NPO認定						
ホームページリニューアル						
企業CSR活動支援開始（トッパンホームズ　年１回）						
企業CSR活動支援開始（大和ハウス　年１回）						
第１２回「みどりの式典」内閣総理大臣賞受賞						
提案事業「木もれびの森案内看板・マップ」作り						


平成
１９年
平成
２０年
平成
２１年
平成
２２年
平成
２３年
平成
２４年
平成
２５年
平成
２６年
平成
２７年
平成
２８年
平成
２９年
平成
３０年
平成31年
令和元年
令和
２年

＊組織図



＊役員

理 事 長・・　１名
副理事長・・　１名
理　　事・・　５名以上
監　　事・・　２名

＊会員構成及び年会費

正会員　　２０００円　　正会員にはヘルメット、鋸貸与
賛助会員　１０００円

＊作業機材

保全作業：チェーンソー、刈払い機、各種鋸、チルホール、鉈、手鎌、斧
　木廻し、太枝切りバサミ
木工作業：ログミル、丸鋸、糸鋸、ボール盤、ドリル、ジグソー、サンダー
　電気カンナ、電気ドリル、ブロアー
備品類　：コンプレッサー、発電機、一輪車、リヤカー、ヘルメット
　テント、各種梯子、防護機材、カケヤ、穴掘り、各種スコップ
　ツルハシ、ハンマー、ブルーシート、パネル、幟
事務機器：テプラー、ラミネーター、焼き印、事務用品、観察用資機材

＊諸規定

・チーム運営規定　・諸手当、慶弔費定　・会員規定
・イベント講師料とグッズ製作手数料覚書　・外部からの委託活動規定

＊作業マニュアル

・安全のしおり・間伐作業標準　・下刈り作業標準
・樹林内の発生材片付けマニュアル　・カントリーヘッジの作り方
・シイタケホダ木作成マニュアル・散策路杭打ち作業マニュアル

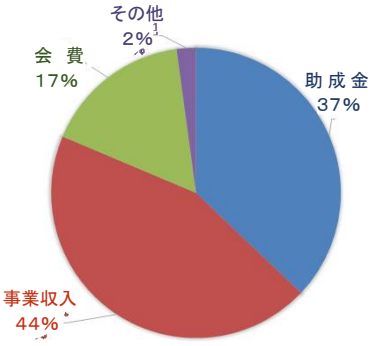
会員数・収支状況経緯

単位：千円

年	会員数	年間収入	年間経費	助成金	助成金受給先
平成13年	—	—	—	—	
平成14年	—	—	—	—	
平成15年	—	—	—	—	
平成16年	52	137	85	—	
平成17年	60	723	637	500	イオン助成金授受
平成18年	50	1003	971	700	イオン助成金授受
平成19年	62	863	836		
平成20年	68	1,071	1,053	606	花王助成金授受
平成21年	67	730	525	7	
平成22年	68	681	618		
平成23年	70	585	534	165	関東・水と緑のネットワーク拠点百選助成金授受　146
平成24年	70	602	582	168	西武信金助成金授受 150
平成25年	71	677	638	206	百選助成金授受　100
平成26年	75	449	449	10	
平成27年	72	704	600	180	神奈川県助成金授受　167
平成28年	77	1,342	1,167	577	神奈川県助成金授受　559
平成29年	74	969	747	180	神奈川県助成金授受　152
平成30年	73	1,188	810	292	神奈川県助成金授受　277
平成31年・令和元年	75	2,043	1,118	200	神奈川県助成金授受　185
令和2年	73	＊ 250	＊ 450	＊ 3	
合計	—	14,017	11,820	3794	
平均		825/年	696/年		

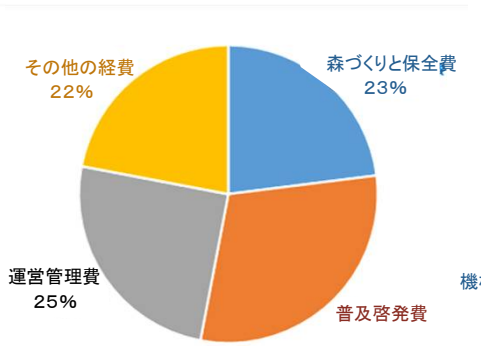
＊　見込み　新型コロナウイルス感染拡大下での活動

項目別収入状況



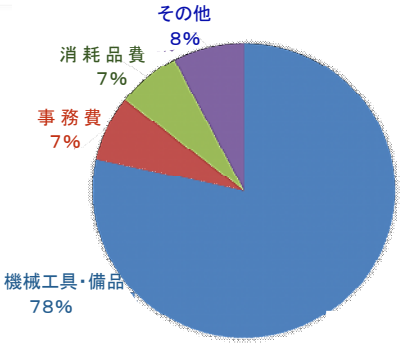
平成16年～平成31年・令和元年
総資金額1377万円

項目別支出状況



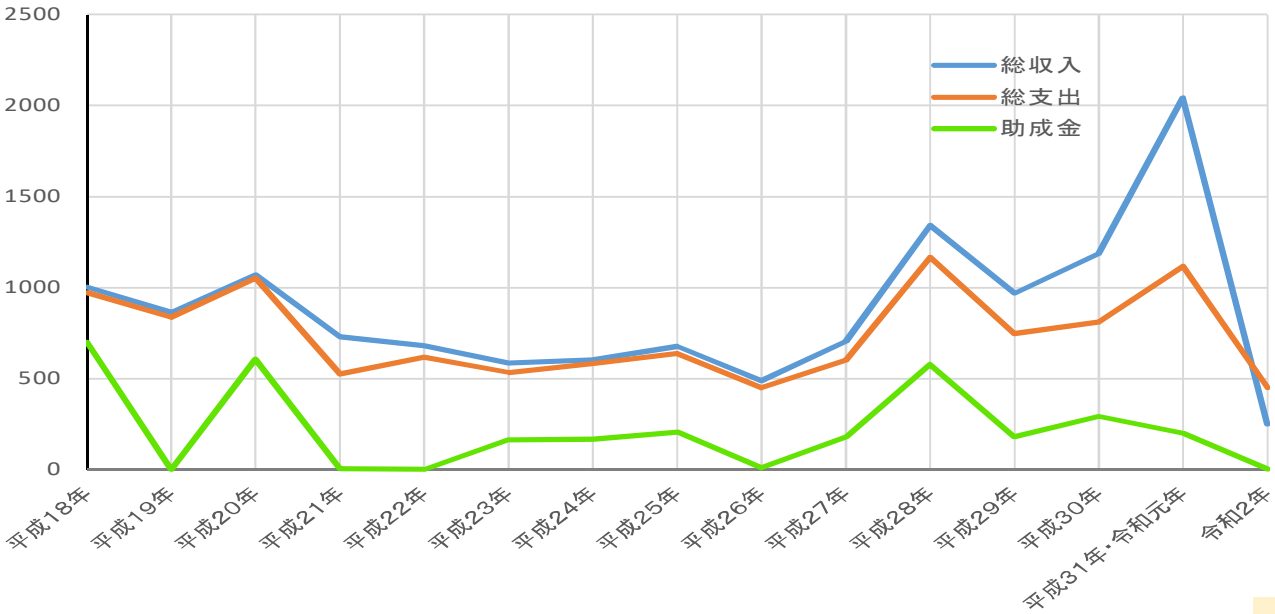
平成25年～平成31年・令和元年
総資金額553万円

助成金支出内訳



平成16年～平成31年
総資金額 379万円

年度別収支



歴代役員

平成16・17年度：任意団体「相模原こもれび」　平成18年度～：NPO法人相模原こもれび

職名／年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
会長	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	佐藤　保	佐藤　保
副会長	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	園田眞夫
	川又昭子	川又昭子	川又昭子			髙橋孝子
理事	園田眞夫	園田眞夫	小谷進太郎	小谷進太郎	髙橋孝子	林善右衛門
	赤松文子	赤松文子	沼澤新太郎	沼澤新太郎	小谷進太郎	小谷進太郎
	小谷進太郎	間宮丈滋	野口正枝	野口正枝	沼澤新太郎	沼澤新太郎
	真山正彦	佐藤　保	園田眞夫	園田眞夫	野口正枝	野口正枝
		鈴木孝雄	間宮丈滋	間宮丈滋	園田眞夫	鈴木孝雄
		沼澤新太郎	斉藤　忠	佐藤　保	鈴木孝雄	野々村　叡
		石塚織男	佐藤　保	鈴木孝雄	野々村　叡	村松　宏
		海野基之	鈴木孝雄	野々村　叡	村松　宏	海野基之
		海野良惠	野々村　叡	村松　宏	海野基之	肥田　悟
		伊藤幸子	村松　宏	立川昭一	肥田　悟	
			立川昭一	海野基之		
			海野基之	肥田　悟		
			海野良惠			
			伊藤幸子			
監事	長崎モリエ	長崎モリエ	肥田　悟	遠藤留雄	遠藤留雄	遠藤留雄
	新倉　滋		藤田幸子	藤田幸子	藤田幸子	藤田幸子

職名／年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
会長	佐藤　保	佐藤　保	佐藤　保	佐藤　保	佐藤　保	髙橋孝子
副会長	園田眞夫	園田眞夫	園田眞夫	園田眞夫	園田眞夫	園田眞夫
	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	村松　宏
理事	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	林善右衛門	佐藤　保
	小谷進太郎	小谷進太郎	小谷進太郎	小谷進太郎	小谷進太郎	野々村　叡
	沼澤新太郎	沼澤新太郎	沼澤新太郎	沼澤新太郎	沼澤新太郎	海野基之
	野口正枝	野口正枝	野口正枝	野口正枝	野口正枝	肥田　悟
	鈴木孝雄	野々村　叡	野々村　叡	野々村　叡	野々村　叡	平野和夫
	野々村　叡	村松　宏	村松　宏	村松　宏	村松　宏	浅川長宏
	村松　宏	海野基之	海野基之	海野基之	海野基之	本田吉正
	海野基之	肥田　悟	肥田　悟	肥田　悟	肥田　悟	鳥飼一俊
	肥田　悟					伊藤邦子
監事	遠藤留雄	遠藤留雄	遠藤留雄	遠藤留雄	遠藤留雄	恩田武宜
	藤田幸子	藤田幸子	藤田幸子	藤田幸子	藤田幸子	松浦悦子

職名／年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度
会長	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子	髙橋孝子
副会長	園田眞夫	佐藤　保	佐藤　保	平野和夫	平野和夫
	村松　宏				
理事	佐藤　保	海野基之	海野基之	海野基之	本田吉正
	野々村　叡	平野和夫	平野和夫	本田吉正	鳥飼一俊
	海野基之	浅川長宏	浅川長宏	鳥飼一俊	伊藤邦子
	肥田　悟	本田吉正	本田吉正	伊藤邦子	杉山信義
	平野和夫	鳥飼一俊	鳥飼一俊	杉山信義	安達登志栄
	浅川長宏	伊藤邦子	伊藤邦子	安達登志栄	田中早苗
	本田吉正			田中早苗	川村道子
	鳥飼一俊				
	伊藤邦子				
監事	恩田武宜	恩田武宜	恩田武宜	恩田武宜	恩田武宜
	松浦悦子	松浦悦子	松浦悦子	松浦悦子	松浦悦子

森づくり・保全

1活動の歩み

平成13年、相模原市主催で中川重年氏（前京都産業大学教授）の下、古淵麻溝台線に面した木もれびの森を実習林として森林ボランティア養成講座が全5回に亘り実施された。この講座は、平成14年にも現在のA地区を実習林に実施され、2年間を合せ98名が木もれびの森の保全活動の担い手として養成された。平成15年から市の外郭団体であるみどりの協会（現まち・みどり公社）の実地指導により保全作業を実習し、平成16年に希望者により任意団体「相模原こもれび」が組織され自主活動を開始した。活動は相模原市が策定した「木もれびの森保全・活用計画」に基づき遂行された。その後、政令都市への移行や地球温暖化防止対策、生物多様性の保護に対応して見直され、平成22年に新たに「相模原市水とみどりの基本計画」が策定された。尚、平成13年から平成24年まで萌芽更新実験地（現C地区）においてモニタリング調査を行い現在の森の状況下での萌芽更新の有効性を検証している。平成17年、市民とのパートナーシップ協働事業が発足し、当会も市とパートナーシップ協定を結び木もれびのの森の保全活動を行うこととなった。平成18年に更なる体制の強化と活動の活性化を図るためNPO法人に移行し現在に至っている。平成19年には相模原市より委託を受け森林ボランティア養成講座を開催し会員の増強を図った。

2　森づくり活動の目標・作業指針

【目標】

市街地に囲まれた平地林の特徴を活かし、老若男女が、庭続き感覚で訪れ、憩い、癒され、学び楽しめる“気持ちのいい森”に導いていく。自然遷移と同調しながら光環境を適正に改善し、森を明るくすると共に森林内のギャップを利用し、コナラ、クヌギの苗を植樹し森の再生を 行う。

【作業方針】

・樹木の伐木　　伐木基準：樹木密度を25㎡（5m×5m）に1本を目標とする。

① 高木は枯損木、衰退木は原則伐採する。

② 全体としては老齢段階の森であるが、世代を交代させ若い元気な森に移行するために、根付き、成長が期待できる幼木は伐木せず優先的に育成していく。そのために、その成長を妨げ被圧している高木は伐 木する。

③ 木もれびの森に生育している個体数が少ない樹種は伐木せず育成していく。

④ 常緑広葉樹はもともと繁殖力が強く落葉樹が多い雑木林のなかで発育すると、繁茂していきます。

＊林床を暗くし草本類の成長を妨げると共に目線の位置で視界を妨げるので森全体に暗い印象を与えるためアオキ、シュロは原則伐木する。

＊生育した中・高木の常緑樹はそのまま自然遷移にゆだねて育成するが、増えすぎないようコントロールし除伐する。

⑤ 多量生息種は適正量にコントロールする。

・林床植物

① 草本類の貴重種は育成保護　　ヤマユリ、キンラン、ギンラン、シュンラン、アマナなど

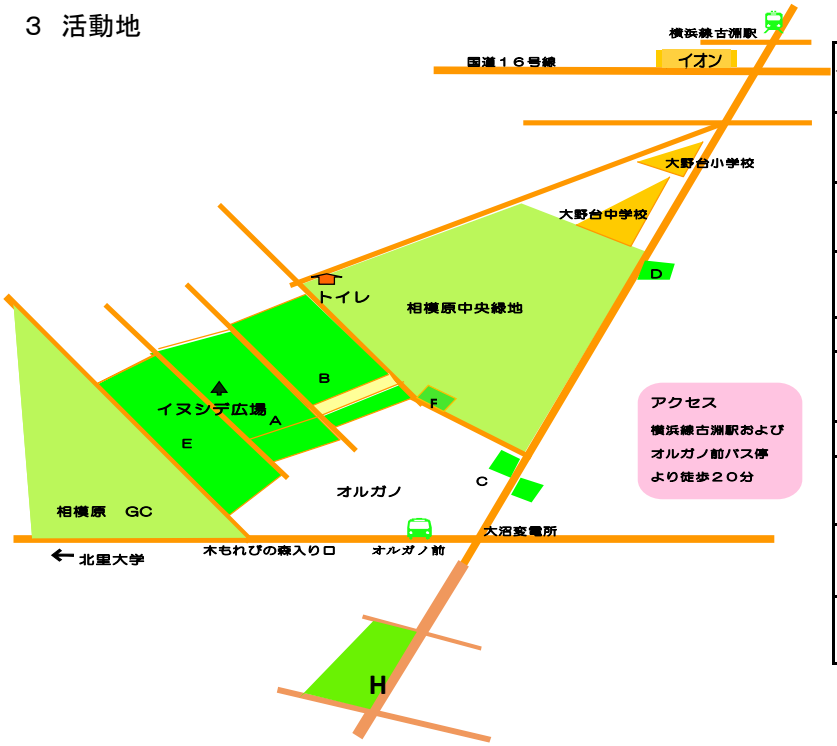
② 群生植物は種に拘らず育成保護　　キクザキイチゲ、ウバユリ、キチジョウソウなど

③ 多量生息種は適正量にコントロールする。　イチゴ類など

・森の景観

伐木された樹木や刈り取られた草類は森に還すことを基本とし、「樹林内の各種発生材の片付け作業マニュアル」に従い適切に行い、気持ちの良い森の景観づくりに留意していく。

3　活動地



活動地 ＼ 年度	A	B	C	D	E	F	H	魚止めの森
H16	○	○	○					H19 ⇩ H29
H17	○	○	○	○				
H20	○	○	○	○	○			
⟆								
H22	○	○	○	○	○		○	
⟆								
令和元年	○	○	○	○	○	○	○	
面積 ha	3	4.6	0.6	0.3	3.2	1	2.1	0.11
所在地	大野台8丁目		西大沼2丁目	西大沼4丁目	大野台8丁目		麻溝台3丁目	津久井町鳥屋

4 活動内容

・定例活動

年度	活動回数	参加人数	主な作業内容			
			作業項目	時期	作業詳細	使用機器
平成16年度	20	443	下刈り	4～9月	下草、幼木伐採	刈払い機、大鎌、手鎌
平成17年度	21	386				
平成18年度	20	325				
平成19年度	20	329	伐木	10～3月	間伐、除伐、択伐	チェーンソー、手曲がり鋸、手鋸
平成20年度	21	376				
平成21年度	23	439				
平成22年度	31	502	植生調査	通年	貴重種の保護、記録	保護資材、標識、
平成23年度	28	459				
平成24年度	31	438				
平成25年度	27	476	散策路整備	通年	散策路設定、整備	ワイヤーロープ、擬木柵、 木槌、穴明スコップ
平成26年度	29	526				
平成27年度	31	536				
平成28年度	29	613	林床整備	通年	樹林内の各種発生材の 片付け作業マニュアル カントリーヘッジの作り方	チェーンソー、鉈、鋸、腰ロープ
平成29年度	32	645				
平成30年度	34	677				
令和元年度	32	650	育苗・植樹	10～3月	ドングリ苗育成、植樹	
令和 2年度						

・植樹

年月日	場所	実行者	樹種・本数	支援者
平成17年3月21日	西大沼2丁目	近隣小中学生、住民 相模原こもれび	クヌギ、コナラ、ブナ他	みどり対策課 土地所有者
平成23年11月5日	麻溝台3丁目	双葉小学校他近隣小学校生徒及び保護者 相模原こもれび	クヌギ50本 コナラ50本	水みどり環境課 三菱UFJ環境財団 大野台地区青少年健全育成協議会
平成26年1月27日	麻溝台3丁目	双葉小3年生65名	クヌギ30本、コナラ5本 マテバシイ他10本	トラストみどり財団
平成28年3月24日	麻溝台3丁目	双葉小4年生	ドングリポット苗づくり	
平成29年2月21日	麻溝台3丁目	双葉小3・6年生160名	クヌギ150本ポット苗地植え	
平成29年11月17日	麻溝台3丁目	双葉小3年生90名	ドングリポット苗づくり	
平成30年3月12日	大野台A地区	双葉小3年生95名	クヌギ59本ポット苗地植え	
平成30年11月26日	大野台B地区 ミズキ伐採地	双葉小3年生	クヌギ100本ポット苗地植え	
平成30年12月8日		三菱電機CSR活動	クヌギ100本ポット苗地植え	

・主な撹乱

台風被害	平成23年9月21日	台風15号： 15本倒木
	平成24年6月19日	台風4号 ： 11本倒木
	平成30年10月1日	台風24号： 15本倒木
	令和元年9月12日	台風15号： 23本倒木
	令和元年10月12日	台風19号： 16本倒木
害虫被害	平成29年～30年 キアシドクガ大量発生 ミズキ被害 特にB地区住宅隣接地大量発生により伐木	
放射能被害対応	平成23年10月～24年4月 5回 活動地内16か所放射線量測定0.049μs／時（基準値0.23μs／時）	
	平成24年11月森生成シイタケ放射線量測定 北里環境科学センター 42Bq／Kg（基準値100Bq／Kg）	
	平成25年4月シイタケホダ木放射線量測定 北里環境科学センター 47Bq/Kg（基準値50Bq/Kg）	
	平成27年6月腐葉土放射能測定東大環境分析化学研究室 基準値に対し5．5分の1	
新型コロナウイルス被害	令和2年3月～5月 世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染拡大防止対策で活動休止	

安全祈願

新年森開き

準備体操

朝礼

下刈り

伐木

林内整理

散策路整備

薪割り

植生保育

シイタケホダ木製作

機器保守・整備

皮むき

リース用蔓採取

クラフト材採取・準備

ト

木工製品製作

倉庫備品整理

植樹

台風被害

放射能測定

キアシドクガ被害・ミズキ食害・伐採

キアシドクガ大発生

森の植生調査と保護

平成16年から森の中にどんな樹木が生育しているのか、又、季節ごとにどんな花が咲くのかなどの植生調査を活動地内で開始した。特に、ヤマユリ・キンラン・ギンラン・シュンラン・オオバギボウシ・オカトラノオ・オトコエシ・サイハイラン・キチジョウソウ・シラヤマギク・シロヨメナ・ツリガネニンジン・ヒヨドリバナ・ホトトギス・ヤブカンゾウについて個体数をカウントし、現在まで継続し記録している。植生調査は木もれびの森の活動地及び活動地外（中央緑地、イワガラミ地区、西大沼鉄塔地区）に亘り、植生チームにより毎年継続して行い、蓄積した情、報はホームページや広報紙で、随時内外に発信し、会発行の小冊子「木もれびの森ガイド」や「木もれびの森マップ」で広く紹介している。平成26年から全生育植物の植生モニタリング、平成29年から46種の樹木について定点観察を行った。

平成17年、相模原市市とのパートナーシップ協定締結を機に活動地A地区を10区画に分け、その内の1・2区を調査実験地に定め、植生調査と適切な樹木密度による光環境を策定するための調査活動を開始した。平成19年にその調査結果がまとまり、以降の保全活動の指針となった。

又、10区画のうち、3・4区は野鳥の保護のため、手を加えず藪状態のまま残すこととした。

平成30年1月、相模原市と市民協動でのモニタリング調査等事業協定を結び、その実施要領に基づく調査活動を開始した。調査対象種は、アマナ・エビネ・キンラン・ササバギンラン・シュンラン・フデリンドウ・キクザキイチゲ・サラシナショウマ・ツリガネニンジンの10種類。その他、会独自でヤマユリも調査する。

森に訪れる人々に樹木や草花に親しんで貰うために名板を取り付けた。又、貴重種には保護のため柵を適宜設置した。しかし、草花の心無い不法盗掘をどのようにして防いでいくか、難しい課題となっている。

年度	月日	場所	調査内容
平成14年度	毎月	萌芽更新地A･B地区	樹木調査･季節の植物調査･萌芽調査
～		第1回実習林	季節の植物調査
平成16年度		A地区1区･2区	樹木調査･季節の植物調査･カントリーヘツジ作成
平成17年度	毎月	A地区1区･2区	樹木調査･季節の植物調査
平成18年度	毎月	A地区1区･2区	樹木調査･樹木の萌芽調査･季節の植物調査
平成19年度	毎月	A･B･E地区	散策賂の樹木調査･A地区萌芽継続調査･季節の植物調査
平成20年度	毎月	A･B･E･D地区	D地区樹木調査･季節の植物調査･樹名板作成・取り付け
平成21年度	毎月	Ａ・Ｂ・Ｅ地区	季節の植物調査･樹木調査･保護柵設置
平成22年度	毎月	Ａ・Ｂ・Ｅ地区	季節の植物調査･樹木調査･保護柵設置
平成23年度	毎月	A･8･E地区･活勤地外	季節の植物調査･樹木調査
平成24年度	毎月	活動地	季節の植物調査･樹木調査･萌芽更新区樹木調査
平成25年度	毎月	活動地･活動地外調査	季節の植物調査･樹木調査
平成26年度	毎月	活動地･活動地外調査	植生モニタリング-樹名板取り付け
平成27年度	毎月	活動地･活動地外調査	植生モニタリング･花ごよみ作成・竹柵保護手入れ
平成28年度	4月～毎月	活動地･活動地外調査	植生モニタリング･花ごよみ作成･看板付け替え･定点観察
平成29年度	4月～2か月毎	活動地･活動地外調査	植生モニタリング･市のモニタリング調査開始
平成30年度	4月～	活動地･活動地外調査	市のモニタリング調査･F地区樹木調査･花ごよみ
令和1年度	4月～	活動地･活動地外調査	市のモニタリング調査･カントリーヘツジ整備
令和2年度	4月～	活動地･活動地外調査	市のモニタリング調査

第1実習林

萌芽更新地B

萌芽更新地A

放置林（3・4区）

樹名板

保護看板

保護看板（境界木並木）

植生調査

保護手入れ

保護柵設置

保護柵設置

カントリーヘッジ整備

各種情報

こもれび花だより　第1号　2003年4月22日

こもれび木だより

樹木・草花　調査報告書

NPO法人　相模原こもれび

木もれびの森物語

情　　報　　名	発行日・発行期間
こもれび花だより	平成15年4月～平成20年3月
こもれび木だより	平成17年9月～平成20年3月
樹木・草花　調査報告書	平成19年11月
木もれびの森　散歩道	平成21年3月
木もれびの森　珍しい木	平成24年2月
木もれびの森　おかしな木	
こもれびの森に見られる植物1～3	
花・ここ情報	平成26年3月～

木もれびの森の落ち葉の資源循環プロジェクト

木もれびの森の落ち葉を活用して腐葉土を製作し、肥料や生ゴミの堆肥化など様々な用途で利用することにより、市民生活に寄与すると共にゴミ処理業務の軽減などを図ることを目的に「木もれびの森の落ち葉の資源循環プロジェクト」を立ち上げた。多くの市民の参加と協働による地域の活性化を目指す地域活性化事業制度の中で環境の保護・保全に関する事業として認定され、交付金の支給を受け事業展開した。１団体では実行できなかったため、ゴミの堆肥化の活動を行っていた環境ステップアップの会と手を組みこの事業を行った。

環境ステップアップの会：自然を守り、環境を保護する為に資源の有効利用を地域に広める活動をしている団体。使い捨てのライフスタイルを見直しゴミを減らすだけでなく、ゴミを出さない取り組みを行い持続可能な資源循環型社会づくりを目指ししている。ダンボールコンポストで腐葉土を使い家庭から出る生ゴミを堆肥化し、有効利用する活動を促進している。

年度	年月日	内容	備考
平成23年度	H23.7.2	志木ニユウタウンの腐葉土作り視察	「なんでも回収袋」による腐葉土
	H23.7.20	木もれびの森の落ち葉の資源循環プロジェクト	交付金　265,000円
	H23.10～	福鳥第一原子カ発竃所事故､このため森の汚染状況を把握するために放射線量測定を実施した	放射線量麗定を10月から毎月1回実施した
	H23.12.10	落ち葉集積枠づくり	木もれびの森麻溝地区
	12月から2月	年4回落ち集集め	木もれびの森
	H24.1.14	腐葉土を使つた生ごみ堆肥作りの説明を行つた	23年度
平成24年度	H24.4.21	「放射線量からわかること」の学習会を開催	講師小豆川勝見氏
	4月から2月	4･5･7･9･11･12月放射練量測定	木もれびの森
	H24.7.24	木もれびの森の落ち葉の資源循環プロジェクト	交付金　241,000円
	H24.9.24	森の３か所の腐葉土をサンプリングし、東京大学アイソトープセンターにガンマー線の計測を依頼した	腐葉土の放射性セシウムは暫定基準値内である事が確認された
	H24.10.20	「木もれびの森で遊ぽうよ！」に共催として参加	南区役所共催
	H24.12･1月	落ち葉収集を実施	備品収納庫2個を股置
	H25.1.13	「移動する放射性物質　その影響の今とこれからは？」講師､小豆川勝見氏	参加者97名 大野中公民館
	H25.3.2 ･3.3	会の活動･プロジェクトのパネル展示 小豆川勝見氏学習会のまとめ誌配布	大野中公民館
	H25.3月	集積した落ち葉に米ぬか､水を散布する	木もれびの森
平成25年度	H25.5.24	木もれびの森の落ち葉の資葦循環プロジェクト	交付金　96000円
	H25.6.24	森の放射糠量測定実施	木もれびの森
	H25.7.29	腐葉土の切り替えし作業実施	木もれびの森麻溝台地区
	H25.10.14	平成23年度産の腐葉土の袋詰めを実施	参加者9名
	H25.10.19	「木もれびの森で遊ぽうよ！」に共催として参加	南区役所共催
	H25.12.9	落ち葉収集､腐業土のつくり方講習会	チラシ配布で参加者募集
	H26.1.27	平成23年度の腐葉土を配布	ネズミ対策に金網を張る
	H26.3.1･2	大野中公民館まつり	プロジェクトのパネル震示
	H26.3.24 H25.1.13	腐葉土切り返し･腐集土の使い方･ ダンボールコンポスト講座､参加者33名	24年度産の腐業土の放射性セシウム合算値暫定許容量以下
平成27年度	H27年	活動年4回､参加者47名	木もれびの森
平成28年度	H28年	活勣年4回､参加者44名	木もれびの森
平成29年度	H29年	活動年4回､参加者37名	木もれびの森
平成30年度	H30年	活動年3回､参加者30名	木もれびの森
令和元年度	R1年	活勣年4回､参加者44名	木もれびの森
令和2年度	R2年	活動年2回､参加者20名	木もれびの森
		令和2年12月14日プロジェクトを終了する。	当初の目的は達成された

志木ニュータウン視察　H23.7

なんでも回収袋　H23.7

集積枠づくり　H23.12

落ち葉かき　H24.12

回収袋　H24.12

生ゴミ堆肥説明　H24.1

放射線量測定　H24.9

切り返し、ぬかを混ぜる H25.3

木もれびの森で遊ぼうよ！ H26.6

小豆川先生学習　H25.1

小豆川先生

堆肥の中に・・・

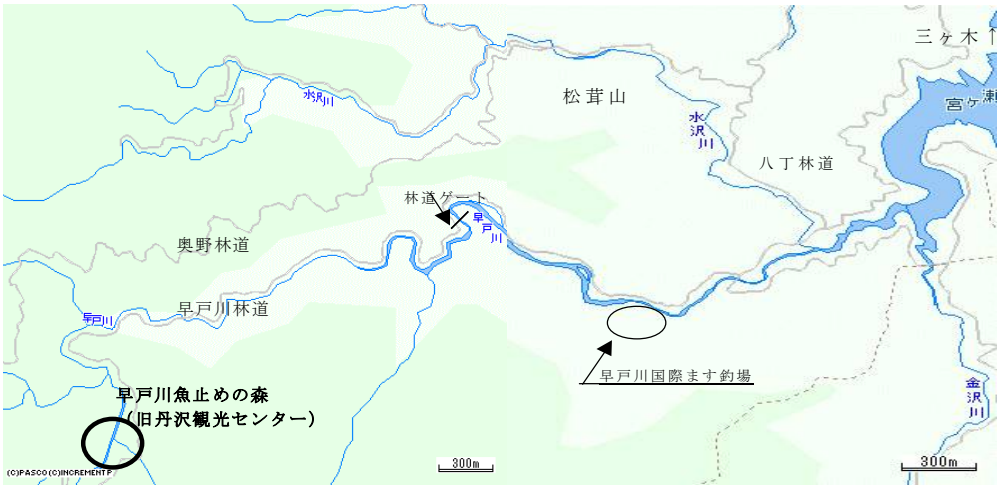
アオダイショウ R1.3

カブトムシ幼虫 R1.12

定着型ボランティア活動

◉ 県の所有する森林の一定エリアを活動フィールドとして、県から無償で提供を受け、森林 づくりを１０年間、自主的・主体的に行っていく活動
◉ 県民との協働による森林づくり実行委員会 が主管し神奈川県環境農政部森林課に事務局を置く

平成２０年４月より開始された定着型森づくりボランティア活動で、当会の担当地域である、相模原市津久井町鳥屋の早戸川上流『魚止めの森』の保全活動を行った。



活動経緯

年	月日	参加者	活動内容
平成20年度	8月30日	19名	斜面地・上面整備　下刈り・林床片付け
	11月29日	13名	同上　及び　樹木間伐
平成21年度	5月30日	12名	〃
	10月	―	林道崩落のため中止
平成22年度	5月29日	16名	斜面地・上面整備　下刈り・林床片付け 上面部（植樹地）測量　435㎡
	10月30日	16名	ヤマザクラ苗木20本上面部に植樹、鹿防護柵設置
平成23年度	4月17日	18名	斜面地整備、植樹地整備・育苗
	10月29日	16名	同上
平成24年度	4月28日	18名	同上
	10月27日	10名	同上
平成25年度	5月25日	10名	同上
	11月2日	8名	同上
平成26年度	4月26日	11名	同上
平成27年度	4月25日	12名	同上
平成28年度	中止		林道工事通行禁止のため中止
平成29年度	4月29日	18名	斜面地整備、植樹地整備・育苗
平成30年度	4月28日	11名	植樹地整備・育苗　最終活動

上面部・植樹地

斜面部

早戸川河原

ジュニアボランティア活動

森林は青少年の豊かな人格を育む体験活動の場であります。青少年健全育成協議会が「地域・子どもふれあい事業」の一環として『木もれびの森』という素晴らしい自然環境を活用して体験していく活動が計画され、大野台公民館を通じ当会に実行主体としての協力依頼があり、当会の活動目標である「森の保全」「子どもの健全育成」「自然保護意識の普及・啓発」にも合致することから受諾し平成15年より開始されました。近隣の小中学生を対象に1年を通して4回～13回開催する形で多くの子ども達が巣立っていきました。将来「木もれびの森」をはじめ、全ての自然を愛し守り育てていく担い手として活躍してくれるものと期待しています。

① 自然観察 ‥ 森の生態系・動植物観察
② 森の保全活動‥ 下刈・間伐・落葉かき・林内整理・ドングリの植付
③ 森と人との関わりを知る ‥ しいたけホダ木作り・堆肥作り
④ 森を楽しむ体験 ‥ 木工クラフト・野外ゲーム・焼き芋

活 動 の 推 移

	子ども参加者	活動回数	育成協議会 公民館 担当者	ボランティア 担当者	青少年指導員 森林ボランティア
平成15年	22名	毎月1回 計12回	長池慶子	高橋孝子	14名
平成16年	22名	毎月1回 計12回	長池慶子	間宮丈滋	16名
平成17年	27名	毎月1回 計12回	長池慶子	川又昭子	17名
平成18年	33名	毎月1回 計12回	里見香織	佐藤 保	15名
平成19年	23名	毎月1回 計12回	里見香織	齋藤 忠	19名
平成20年	19名	毎月1回 計12回	土橋 剛	高橋孝子	14名
平成21年	15名	隔月1回 計8回	岩崎雄亮	高橋孝子	14名
平成22年	15～20名	隔月1回 計7回	岩崎雄亮	高橋孝子	14～18名
平成23年	15～20名	4回	荒井哲也	野口正枝	14～18名
平成24年	15～20名	4回	荒井哲也	野口正枝	14～18名
平成25年	10～20名	4回	伊藤重俊	高橋孝子	14～18名
平成26年	10～20名	4回	伊藤重俊	高橋孝子	14～18名
平成27年	10～20名	4回	伊藤重俊	鳥飼一俊	14～18名
平成28年	10～20名	4回	伊藤重俊	鳥飼一俊	14～18名
平成29年	10～20名	4回	伊藤重俊	鳥飼一俊	14～18名
平成30年	10～20名	4回	伊藤重俊	鳥飼一俊	14～18名
平成31年・令和元年	10～21名	5回	伊藤重俊	鳥飼一俊	14～19名
令和2年 2月1回開催	28名	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月より活動中止	伊藤重俊	杉山信義	17名

小・中・高等学校学習支援

学校教育のカリキュラムの中で行われる環境学習の一環として、学校からの要請を受け木もれびの森をフィールドにいろいろな体験活動を企画提供し協力した。自然保護意識を醸成し、将来の守り手として育成を図る。

学校名 / 年度	大野台小学校	大野台中央小学校	双葉小学校	大沼小学校	九沢小学校	東淵野辺小学校	相模台小学校	大野小学校	大野台中学校	上溝南中学校	麻溝台高校	相模総合高校	合計
平成17年度	1回	4回											5回
平成18年度	3回	2回			3回				1回		1回		10回
平成19年度						2回							2回
平成20年度	1回	1回											2回
平成21年度		3回							1回				4回
平成22年度	1回	2回								1回			4回
平成23年度		2回								1回			3回
平成24年度	2回	1回		1回			1回						5回
平成25年度	5回		4回	1回								3回	13回
平成26年度	2回	4回	2回	2回									10回
平成27年度	2回		3回						1回				6回
平成28年度	2回		3回						2回				7回
平成29年度	2回		3回						1回				6回
平成30年度	2回		3回					1回	1回				7回
平成31年度	3回		1回										4回
令和2年度＊	3回												3回
合計	29回	19回	19回	4回	3回	2回	1回	1回	7回	2回	1回	3回	91回

＊新型コロナウイルス感染拡大防止対応

支援内容

環境学習	・木もれびの森について（木もれびの森ガイド） ・植物観察（木の実、草花、冬芽、樹木） ・生き物観察
作業体験	・樹木伐木 ・ノコギリ切削 ・下刈り ・落ち葉かき ・植樹 ・林内整理（カントリーヘッジ作り）
クラフト体験	・植物、木のクラフト（シュロのヘビ、コースター,ペンダント作り）

自然観察会・体験活動

森をしり、親しむことが森を守ることに繋がっていく。森を散策し樹木や草花を観察することにより憩い、癒され楽しく学ぶことが出来る。又、森から得られる恵みを活用して物作りや工夫を凝らしたクラフト作りをすることでより森に親しむことが出来る。そのために、自然観察会や保全作業やクラフト作りなどの体験活動を行った。

自然観察会

年　　度	回数	参加者	内　　容・経　　緯
平成21年度	1	9	自然観察指導員や森林インストラクターの有資格者を中心に自然案内人を志す会員を募り研修を重ね一般の人を対象に自然観察会を開催した。木もれびの森中央緑地、大野台地区を主に四季を通じ各季節の特長的な自然の姿をゆっくりウォーキングしながら観察し楽しんだ。森を知り親しむことにより自然保護の意識を醸成すると共に当会の活動を紹介し参加を呼びかけ会員の増強を図ることを目的として行った。 相模原市との協働提案事業により、小冊子「木もれびの森ガイド」と「木もれびの森案内看板及び木もれびの森マップ」を作成し普及啓発活動全般において活用した。
平成22年度	3	31	
平成23年度	3	21	
平成24年度	2	34	
平成25年度	2	29	
平成26年度	3	43	
平成27年度	4	42	
平成28年度	3	32	
平成29年度	4	22	
平成30年度	4	15	

物作り講座

年度	講　座　名	内　　容	場　　所	参加者
平成19年度	キャンドルライトを作ろう	孟宗竹をジグソーで模様にカットし中に灯りをともす	大野台公民館	6
			環境情報センター	27
平成20年度	森の木の額縁工作	間伐したスギを板にしくり抜いて作成	環境情報センター	12
	ランプシェイド講習	孟宗竹をジグソーで模様にカットし中に灯りをともす	麻溝公園管理棟	22
平成21年度	お正月竹細工講習会	竹の一輪挿しとミニ門松	環境情報センター	17
平成24年度	ミニ門松講習会	ミニ門松	環境情報センター	26
平成26年度	エコフェスティバル　木工クラフト	相模原市体躯協会グループ主催親子対象の木工クラフト講習	相模原ギオンスタジアム	18
平成27年度	エコフェスティバル　木工クラフト			12

木工クラフト体験

年度	内　　容	実　施　場　所
平成16年度 ～令和2年度	木の実のクラフト　風車　動物クラフト　ペンダント　クラフト鉛筆 ヒンメリ　オギ箒　ブンブンゴマ 竹笛　ノコギリ体験　リース	各種イベント、学校支援、CSR活動支援、外部団体活動支援など普及啓発活動全般で機会を捉え実施

保全作業体験イベント

年度	講　座　名	内　　容	回　数	参加者
平成19年度 ～令和2年度	キコリ体験とシイタケホダ木ゲット！	間伐体験と間伐材の原木にシイタケ菌を植菌しシイタケホダ木作成	延べ14回	延べ216
平成30年度 ～令和2年度	薪割体験と林内整理	林内に据え置かれている間伐材を整理し材を得て斧により薪割体験	延べ4回	延べ25

自然観察会

物づくり講座

木エクラフト体験

保全作業体験

木もれびの森で遊ぼうよ！

近隣地域の人々の理解と見守りがないとゴミ置き場や私的利用などにより荒れた危険な森になっていく。そこで、当会の活動を紹介し理解と協力を得ると共に活動への参加を呼びかけるために、いろいろな楽しさを加味して相模原市や他団体と共催し平成18年から“木もれびの森で遊ぼうよ！”のタイトルで平成27年までイベントを毎年開催した。

年度	NO	内　　容	共催団体	支援協力
平成18年度	第1回開催	パネル展示、自然観察、草花しおり、 コカリナ演奏会		相模原市
平成19年度	第2回開催	パネル展示、森の木や植物の写真 森であそぼう　もりの木でおもちゃ作り	相模原に冒険遊び 場をつくる会	相模原市
平成20年度	第3回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験、ビデオ上映 昔遊び、フィールドアスレチック	相模原に冒険遊び 場をつくる会	相模原市
平成21年度	第4回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験、ビデオ上映 昔遊び、フィールドアスレチック 花カードの作成配布	相模原に冒険遊び 場をつくる会 ジュニアボランティア	相模原市 相模原市青少年 健全育成協議会
平成22年度	第5回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験、 ブルーシートテントづくり 昔遊び、フィールドアスレチック、大工体験 お菓子販売と絵本読み聞かせ 花カードの作成配布	相模原に冒険遊び 場をつくる会 ジュニアボランティア	相模原市 相模原市青少年 健全育成協議会
平成23年度	第6回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験 昔遊び、ハンモック、ロープ遊具、 工作いろいろ	相模原に冒険遊び 場をつくる会	相模原市
平成24年度	第7回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験 ダンボールコンポスト講習	落ち葉循環プロジェクト	相模原市
平成25年度	第8回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験、森の映写会 ダンボールコンポスト講習 ミニコンサート　大野台中学校吹奏楽部	落ち葉循環プロジェクト 大野台中学校	相模原市
平成26年度	第9回開催	パネル展示、自然観察、木工クラフト リース作り、両挽き鋸体験、竹あそび、 ドングリ飛ばし 南区木もれびの森演奏と 演舞（大野台小学校児童有志） 大沼土窯搗き唄実演　保存会	大野台小学校 大沼土窯搗き唄 保存会	相模原市 水みどり環境課 南区
平成27年度	第10回開催	南区区制施行5周年記念　雨のため中止		

外部団体活動支援

企業のCSR活動や公民館、各種活動団体からの活動支援の要請をを受け、木もれびの森をフィールドにアクティビティを提供し作業協力することにより、当会の活動資金の調達を図ると共に保全活動の一端を担って貰う。

団体名 / 年度	三菱電機CSR活動支援	大和ハウス工業CSR活動支援	トッパンフォームズCSR活動支援	ボーイスカウト奉仕活動支援	みどりの少年団活動支援	公民館活動支援	合計
平成16年度						大沼公民館 相模台公民館	2回
平成17年度							
平成18年度							
平成19年度				1回			1回
平成20年度				1回			1回
平成21年度							
平成22年度						陽光台公民館 大野南公民館	2回
平成23年度						陽光台公民館	1回
平成24年度							
平成25年度	2回			1回		田名公民館	4回
平成26年度	2回			1回		相原公民館	4回
平成27年度	3回		1回				4回
平成28年度	3回		1回		1回		5回
平成29年度	3回	1回	1回	1回	1回	大野台公民館3回	10回
平成30年度	3回	1回		1回	1回	大野台公民館2回	8回
平成31年度	3回	1回		1回	1回	大野台公民館2回	8回
令和2年度	1回	1回			1回		3回
合計	20回	4回	3回	7回	5回	14回	53回

支援内容

作業体験	・樹木伐木　・ノコギリ切削　・下刈り　・落ち葉かき　・植樹 ・林内整理（カントリーヘッジ作り）　・散策路整備
クラフト体験	・木の実のクラフト　・クリスマスリース　・動物クラフト　・ペンダント ・クラフト鉛筆　・ヒンメリ　・ブンブンゴマ　・オギ箒

公民館活動支援

三菱電機CSR活動支援

みどりの少年団活動支援

ボーイスカウト奉仕活動支援

大和ハウスCSR活動支援

トッパンフォームズCSR活動支

ボーイスカウト奉仕活動支援

大和ハウスCSR活動支援

トッパンフォームズCSR活動支援

外部イベント参加活動

多くの人々に会の紹介・PRを行い、活動に対する理解と担い手の勧誘を図ると共に発生材を活用し製作した木工品や木工クラフトなどの体験の場を提供し活動資金を調達するため、行政及び各種環境団体主催のイベントに積極的に参加した。

イベント名 / 年度	クレマチスフェア	オータムフェア	桜まつり	若葉まつり	市民フェア	環境まつり	公民館まつり	アースフェスタ	全国緑化フェア	おもしろ町フェスタ	エコフェスティバル	里地・里山プロジェクト	アジサイフェア	合計
平成16年度														
平成17年度	○	○												2
平成18年度	○	○				○								3
平成19年度	○	○		○	○		○							5
平成20年度	○	○				○							○	4
平成21年度	○													1
平成22年度	○	○				○		○						4
平成23年度	○	○				○								3
平成24年度	○	○												2
平成25年度	○	○					○							3
平成26年度	○	○	○				○				○			5
平成27年度	○			○	○	○	○			○	○			7
平成28年度	○	○	○		○	○	○							6
平成29年度	○	○	○		○	○	○		○					7
平成30年度	○	○	○		○	○	○					○		7
平成31年度	○	○		○	○	○	○					○		7
令和2年度＊	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
合計	15	13	4	3	6	9	8	1	1	1	2	2	1	66

＊ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため大きなイベントは中止された。

活動内容

・パネル展示による活動紹介　・会員募集
・会刊行物配布（木もれびの森ガイド、木もれびの森マップ、パンフレット、リーフレット）
・木工品販売（シイタケホダ木、ベンチ、丸太イス、テーブル、小物アクセサリー、額縁、まな板）
・クラフト体験（木の実のクラフト、風車、ペンダント、クラフト鉛筆）
・木の実、リースキット、草花の苗、手工芸品販売

各種フェア

クレマチスフェア

オータムフェア

おもしろ町フェスタ

市民フェア

全国緑化フェア

桜・若葉まつり

公民館まつり

環境まつり

里地・里山プロジェクト

会員研修・講習会

保全活動、森の自然など、活動に必要となる知識や技術の習得、向上をはかるため、会員を対象に研修講習会を開催した。尚、実施に当たっては1部、市の助成金を利用した。
又、刈払い機、チェーンソーの取り扱いの資格取得については個人の財産に帰属するため、費用は個人負担で行った。

年度	年月日	内容	講師	場所	参加者
平成18年度	H18.7.8	キノコの栽培と管理	島岡　功氏	大沼公民館	16名
平成19年度	H19.2.~7	パソコン教室延べ6回	会員	大野台公民館	16名
	H20.3.16	雑木林の管理	中川　重年氏	銀河アリーナ 木もれびの森	29名
	H20.3.9	井の頭公園視察	公園管理事務所	井の頭公園	12名
平成20年度	H20.4.26	木の話し	富田　改氏	大野台公民館	29名
	H20.5、11	自然案内人講座	横浜ハンミョウの会	横浜自然観察の森	5名
	H20.5.31	森の植物	秋山　幸也氏	相模原市博物館	20名
	H20.6.28	森の虫	西　義清氏	木もれびの森	17名
	H20.8.28	森の木の盆栽	萩原　季氏	麻溝公園管理棟	15名
	H20.9.11	キノコ観察会		木もれびの森	12名
	H20.9.20	刈払い機安全講習	三菱キャタピラ― 教習所センター	三菱キャタピラ― 教習所センター	14名
	H20.11.15/16	チェーンソー特別講習	〃	麻溝公園管理棟 木もれびの森	9名
	H20.11.23/24	森づくりボランティア講座 炭焼き	国際炭焼き協会 西多摩自然フォーラム	木もれびの森 H地区	延べ18名
平成21年度	H21.4.26	森林療法	上原　巌氏	大野台公民館 木もれびの森	21名
	H21.7.4	木もれびの森の植生と 生態系	秋山　幸也氏	木もれびの森	14名
	H21.9~10	パソコン教室延べ5回	会員	大野台公民館	延べ26名
	H21.11.7/8	チェーンソー特別講習	三菱キャタピラ― 教習所センター	麻溝公園管理棟 木もれびの森	4名
	H21.12.5	刈払い機安全講習	〃	麻溝公園管理棟 麻溝公園の森	1名
	H22.3.20	ドングリ苗育成視察	1000年のもりを作る会	横須賀衣笠育苗園	4名
平成22年度	H22.9.12	木もれびの森の蝶	長谷川　大氏	大野台公民館	12名
	H23.2.19/20	チェーンソー特別講習	三菱キャタピラ― 教習所センター	麻溝公園管理棟 木もれびの森	3名
	H23.3.13	刈払い機安全講習	〃	麻溝公園管理棟 麻溝公園の森	3名
平成23年度	H23.7.3	志木市落ち葉の堆肥 活動視察	志木ニュータウン 落ち葉堆肥作りグループ	志木ニュータウン	4名
	H24.1.26	チェーンソー特別講習	三菱キャタピラ― 教習所センター	麻溝公園管理棟 木もれびの森	3名
平成24年度	H24.4.21	放射能の話し	小豆川　勝見氏	大野公民館	8名
	H25.1.13				10名
	H25.2.9	樹木診断講習（樹木医）	小室　武利氏他2名	木もれびの森	23名
	H25.2.24	チェーンソー特別講習	三菱キャタピラ― 教習所センター	麻溝公園管理棟 木もれびの森	1名
平成25年度	H26.1.26	〃	〃	〃	2名
平成26年度	H26.2 ~6	会員スクーリング延べ3回	秋山　幸也氏、会員	大野台公民館	16名
	H26.6.14	熱中症の話し	南保健センター	木もれびの森	24名
	H26.11.4	チッパー講習	まち・みどり公社	木もれびの森	4名
平成28年度	H28.10.28	シュロの話し	萩原　信介氏	木もれびの森	6名
令和元年度	R1.9.28	法改正チェーンソー講習	エスアールエス 相模原教習センター	けやき会館	13名

チェーンソー講習会

チェーンソー講習会

法改正チェーンソー講習

刈払い機講習会

井の頭公園視察

雑木林の管理

木の話し

森の植物

森の虫

キノコ観察会

炭焼き

森林療法

森の植生と生態系

1000年の森を作る会視察

木もれびの森の蝶

志木ニュータウン視察

放射能の話し

樹木診断講習

会員スクーリング

熱中症の話し

チッパー講習

夏期研修

暑さのため活動を縮小する時期の夏期に会員の知識の向上と親睦を兼ね年1回研修会を行った。平成27年度まで1泊研修であったが、女性会員とより多くの会員が参加し易いように、平成28年度から日帰り研修となった。

平成16年度	檜原都民の森、キリン館（木工体験）、小峰公園（生葉藍染め体験）
平成17年度	こどもの国作業奉仕、製材所木工機会の説明、実演見学
平成18年度	篠原の里、竹笛作り
平成19年度	山中湖、リニヤー研究所見学、・風穴、氷穴、など見学
平成20年度	魚止めの森、青野原道志川の家宿泊、キャンプフィア、津久井町周辺の森林について見学＆講義
平成21年度	県立七沢森林公園、県立自然環境保全センター、薪ストーブ製造販売(石川設計)、 県立秦野戸川公園（平成22年植樹祭）、秦野ビジターセンター、はだのじばさんず（JA秦野直営）
平成22年度	南房総市富浦町周辺と大房岬自然公園及び金谷鋸山、大房岬自然公園イベント参加、鋸山の自然林とハイキング
平成23年度	NPO法人設立5周年記念　奥多摩御嶽山、小河内ダム、玉堂美術館、澤ノ井酒造
平成24年度	大雄山周辺の森林、南足柄市パークゴルフ場、おんり～ゆ～　セラピー講座、大雄山最乗寺参拝と境内散策
平成25年度	山梨県道志村、相模原市青根地区：道志の湯、道の駅どうし、薪ストーブショールーム、 道志川渓流フィッシングセンター、青根草木館　他
平成26年度	「文化遺産富士山の自然視察」植樹地、ビジターセンター、青木が原樹海ガイドツアー、根場浜（西湖西岸）
平成27年度	相模原市緑区藤野地区、NPO法人ふじの森のがるでんセンター、藤野倶楽部及び百笑の台所
平成28年度	相模原こもれび10周年記念懇親会江の島、《魅力の江の島》ガイド、バーベキュー懇親会　日帰り
平成29年度	狭山丘陵「さいたま緑の博物館」、《小江戸　川越自由散策》　日帰り
平成30年度	内閣総理大臣賞受賞懇親会
平成31年・ 令和元年度	国立科学博物館附属自然教育園視察＆東京都庭園美術館観賞
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

平成30年度内閣総理大臣賞受賞報告および懇親会

平成16年度　キリン館

平成17年度　子どもの国

平成18年度　篠原の里

平成19年度　山中湖溶岩荘

平成20年度　青野原道志川の家

平成21年度　飯山民宿かじや

平成22年度　南房総ハイク

平成23年度　奥多摩湖

平成24年度　南足柄おんり～ゆ～

平成25年度　青根地区

平成26年度　河口湖富岳荘

平成27年度　青根いやしの湯

平成28年度　江の島

平成29年度　さいたま緑の博物館

令和元年度　自然教育園

平成30年度総理大臣賞受賞懇親会

平成30年度総理大臣賞受賞懇親会　会員展示作品

協働事業提案制度

市民の知恵と力との協働によるまちづくりの更なる推進を図るため、相模原市では協働事業提案制度を展開している。この制度を利用して、水みどり環境課と協働し平成25年「木もれびの森ガイド」を作成した。森の豊かな自然環境を知ることで、森を守り共生していく心を育もうという試みで、市街地の中に横たわる自然の宝庫「木もれびの森」の歴史や、植生、生き物などをわかりやすく紹介するガイドブックを1万5千部作成し、市が7000部、当会が8000部所有した。近隣自治会や小中学校への配付、当会のホームページに掲載するなどで「木もれびの森」への理解が進んだ。又、近隣小学校の環境学習や企業のCSR活動、自然観察会「ゆっくりウォーキング」など、普及啓発活動の取り組みの中で活用した。

平成30年度に2年がかりで、再び協働事業提案制度を利用した。

1年目は「木もれびの森案内看板」の製作と設置、2年目は「木もれびの森マップの製作と順路案内看板の製作と設置」を行った。

「木もれびの森案内看板」

73ヘクタールと大変広い木もれびの森の散策で、分かりやすい親切な看板がないため、森の中で迷子になる方々が多く見受けられた。初めて訪れる方が安全・安心に散策を楽しむことで、都市に残された「木もれびの森」の希少性を感じていただくと共に、保全活動の担い手として活動に参加することに繋がることを目的にこの事業を行い、16基の看板を製作し設置した。製作に当たっては、女子美術大学の学生に地図 のデザインなどを依頼し明るい色彩の素敵な看板が出来た。

「木もれびの森マップの製作と順路案内看板の製作と設置」

平成30年に設置した案内看板と同一内容の地図に、様々な情報を盛り込んだ携帯型のA3版のマップを 3万部（市、当会折半所有）製作し提供することにより森での散策をより以上に親しみ楽しめることが出来るようになった。又、散策路を迷わずに散策できるように、分かれ道などに施設やトイレへの順路案内看板を19か所に設置した。

木もれびの森ガイド　見開きA4版　44ページ

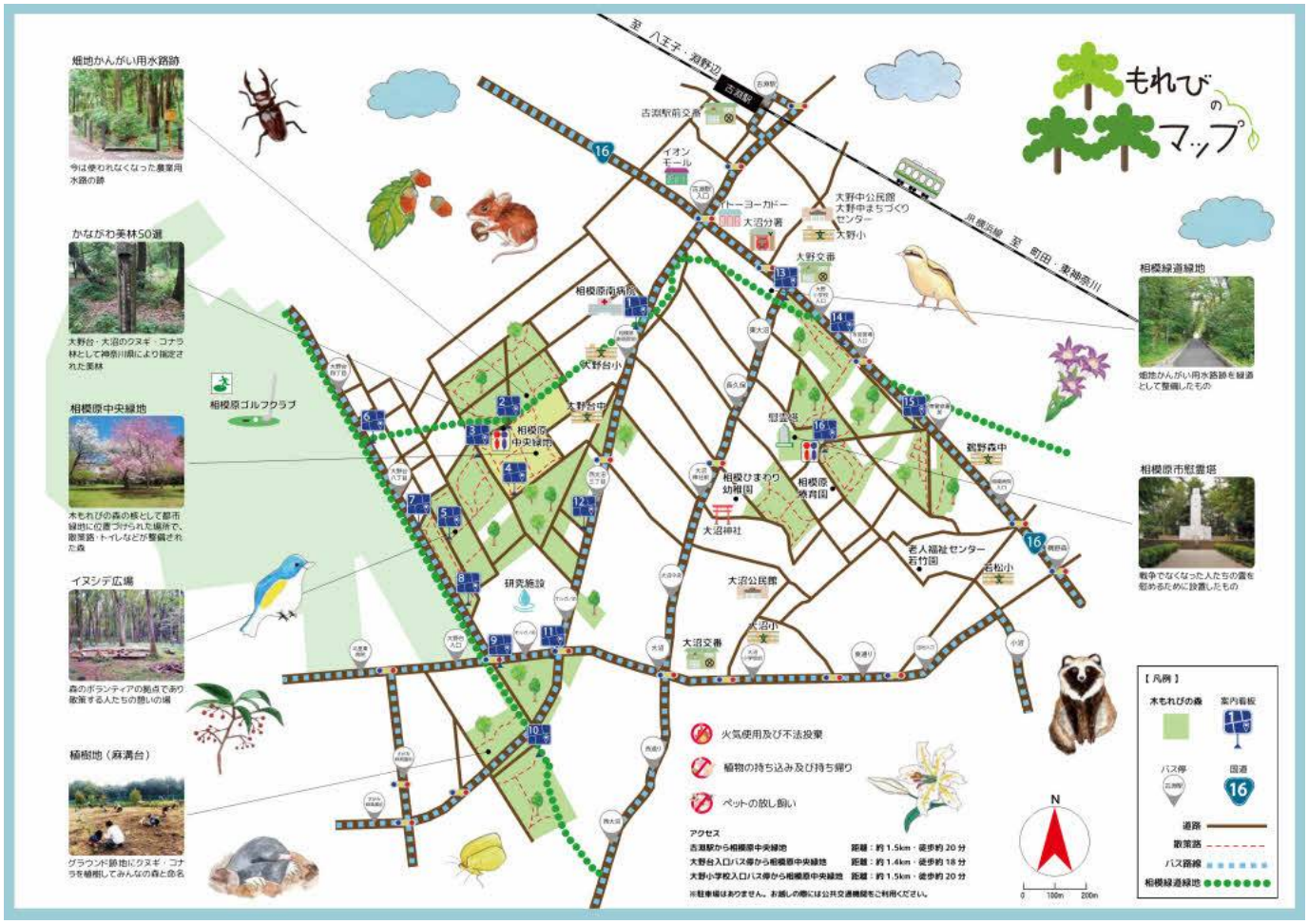
木もれびの森案内看板　600×900

順路案内看板　220×450

木もれびの森マップ　見開きA3版

表　情報面

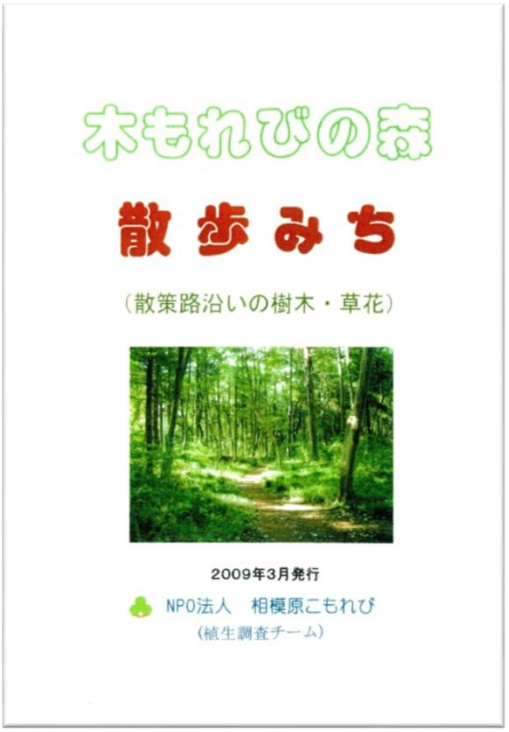
裏　地図面



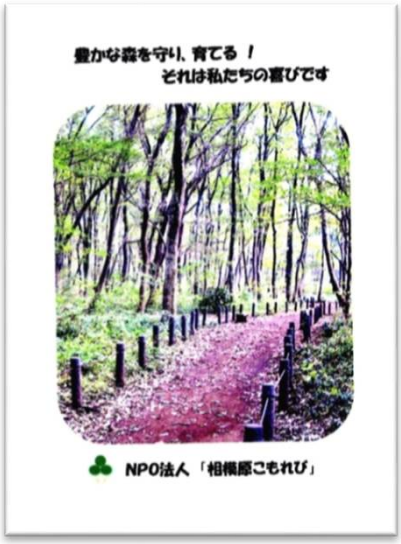
NPO法人相模原こもれび刊行書籍

木もれびの森ガイド

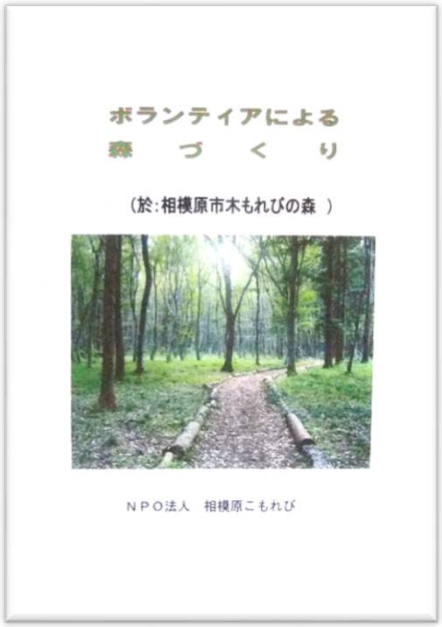
自然観察マップ



自然観察パンフレット

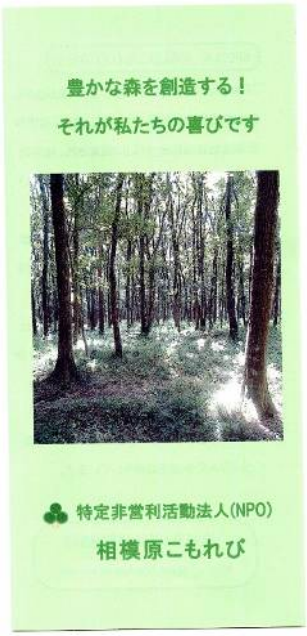


会パンフレット



会主催養成講座テキスト

木もれびの森マップ



会リーフレット

花暦

相模原市・外郭団体環境施策協力

水とみどりの基本計画・水とみどりの審議会	平成19年～令和2年	髙橋孝子
南区区民会議	平成22年～平成28年	髙橋孝子⇒ 肥田 悟＝園田眞夫
地球温暖化防止対策協議会	平成24年～	海野基之⇒ 杉山信義
生物多様性ネットワーク	平成27年～	海野基之⇒ 鳥飼一俊
（公財）みどりの協会理事（現まち・みどり公	平成17年～平成25年	髙橋孝子⇒ 野口正枝
（公財）まち・みどり公社理事	平成26年～	村松 宏⇒佐藤 保⇒伊藤邦子⇒本田吉正

その他　相模原市との関わり

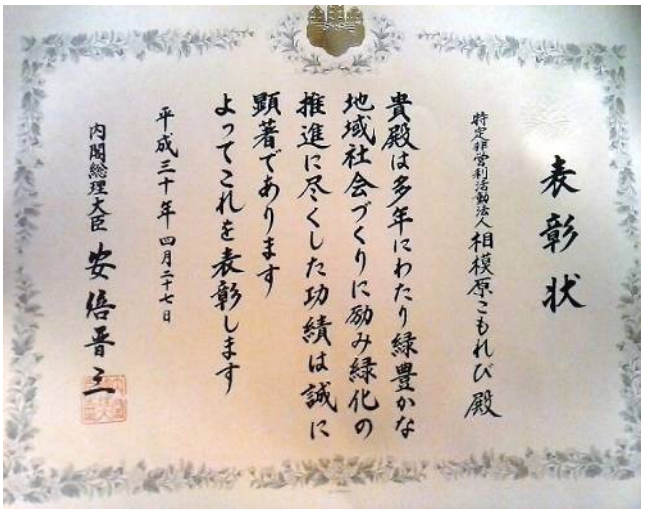
＊木もれびの森環境整備活動参加

＊パートナーシップ協定団体との意見交換会

＊各地区ワークショップに参加　杭打ち作業指導

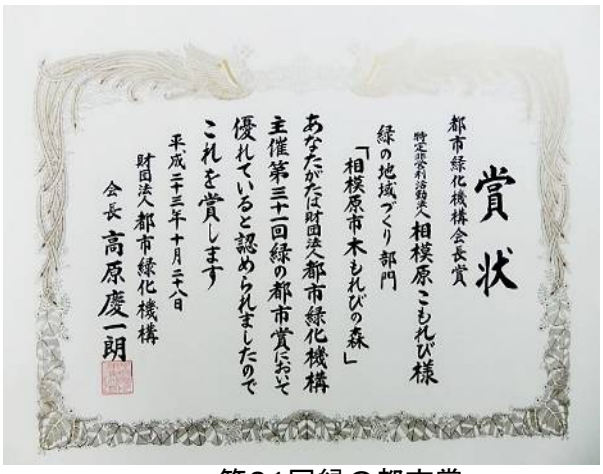
＊森づくりパートナーシップ推進事業意見交換会

賞状・感謝状

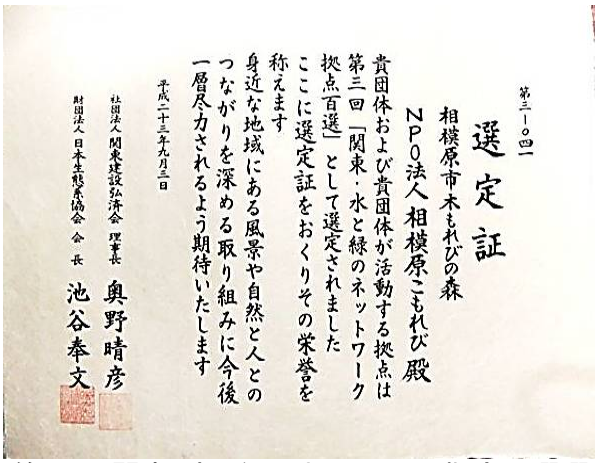


第12回　緑の式典　内閣総理大臣賞

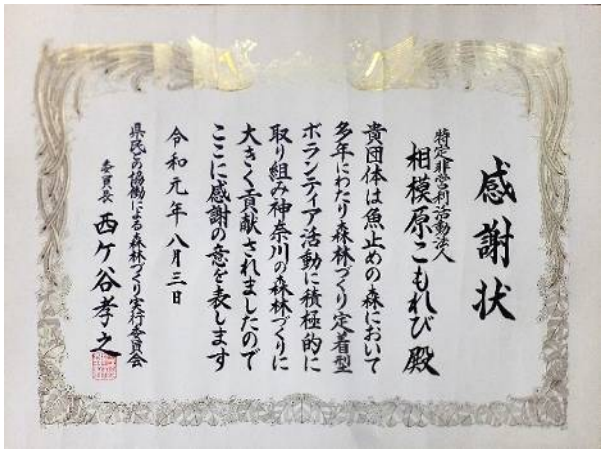
第22回みどりの愛護の集い　感謝状



第31回緑の都市賞
都市緑化機構会長賞



第3回　関東・水と緑のネットワーク拠点百選選定証



県民との森づくり

発行日：令和2年12月
発　行：特定非営利活動法人相模原こもれび
252－0333　相模原市南区東大沼2-2-85
電　　話　090－4629－4843
ホームページ　URL:http://www.npo-komorebi.com/
編　集：海野基之　髙橋孝子　沼澤新太郎
印　刷：タイヨー印刷株式会社